

7. 健康・医療

	日時	年代	～ 20代	30代	40代	50代	60代	70代～ 不明	住所	タイトル	意見等
1	2025/5/4	30代		1					鳴門市	健康立県 とくしま	○ 後藤田正純徳島県知事はウイ－メックスのリアルタイム遠隔医療システムを徳島県鳴門病院にも導入しなければならない。併せて、ウイ－メックスのリアルタイム遠隔医療システムを活用して、徳島県立中央病院と慶応義塾大学病院とをオンラインで繋いで、徳島県立中央病院において慶応義塾大学病院の高度先進医療(3D立体モデルでの手術計画・有効かつ適切な抗癌剤選択試験など)ができるようにしなければならない。
2	2025/5/4	30代		1					鳴門市	健康立県 とくしま	○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島県にウイ－メックス株式会社のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設しなければならない。 ※ 徳島県で医療工学産業の産業振興を図る。 ※ 地域のかかりつけの保険医療機関(病院・診療所・歯科医院・薬局など)に電子カルテ及び電子処方箋の普及促進を図る。
3	2025/5/15	70代以上						1	阿南市	高齢者対策が見当らない	「R7年度当初予算及び主な事業」の各項目に目を通しているところですが、「高 齢者」に関する記述が全く見当たらない。人材確保対策関連で 潜在労働力の活用 の中に「アクティブ・シニア生涯活躍加速化事業」というのがあるが、限られた人 材にしか適用できないと思う。以前「とくしま高齢者いきいきプラン2024～2026」が策定されていて、フレイル予防等の施策がうたわれていた。今年度は予算措置等を全く講じていないというのは どういう理由からだろうか？ 徳島県の高齢化率は34.9% (R4年、徳島県長寿ながいき課資料による)、人口減少の中で高齢者数、率共に増大している。数はいずれ減少するだろうが(人口減に伴って)労働人口も減少するから率は高止まりと思われる。医療施策の記述があるが、ほとんどが子供向けである。一例の提案であるが 徳島県は人口比で医者数は日本一だが、徳島市を中心に偏在している。そこで 各県立病院を軸として 高齢者巡回診療車両を造って、持ち回りで 山間部等を訪問する というのはどうか？ 県所有の公用車は数百台ある、そのコストの一部を転用するとかして。
4	2025/5/22	30代		1					鳴門市	保健医療立県 とくしま	○ 後藤田正純徳島県知事は、徳島県民一人一人に人間ドッグ健康検査診断の普及促進をしなければならない
5	2025/5/23	30代		1					鳴門市	新型コロナウイルス感染症	○ 後藤田正純徳島県知事は、急速に再拡大している新型コロナウイルス感染症の徳島県への流入を遮断しなければならない。
6	2025/5/30	50代				1			つるぎ町	県西部の住民の健康維持 温水プール	徳島県の一番西部にある温水プールが存続の危機にあります。私はこちらの一利用者ですが、東みよし町にあるこの民間の温水プールは公共のものも含め県で一番西にある温水プールです。なんとか県や周辺自治体も含め、温水プールと浴場を備えたこの施設の維持を考えて頂きたいです。例えば修繕して公共性を高め、さらに多くの人たちに利用して頂ければ県が力を入れる価値はあるかと思います。この温水プール施設は、地域の人々の健康維持にすでに大いに貢献しています。東みよし町だけでなく近隣の地域からも多くの人々が通っており、特に高齢者の健康維持に大きく貢献しています。私自身もこちらに通い健康を取り戻しました。平日の夕方や土曜日の午前中などは子どもたちのスクールがあり多くの子どもが通っています。このプールの施設自体は現在老朽化が進んでおり、また昨今の燃料費の高騰など多くの問題を抱え今存続の危機にあります。水中運動の効果は広く認知されていますが、こちらがなくなれば多くの人たちの健康寿命が脅かされ、子どもたちが季節を問わず身体を動かせる施設がなくなります。また、ここは人々の交流の場にもなっており、特に高齢者の方々は孤立化の防止にもなっています。 県の西部は人口減少や高齢化が進んでいる地域ですが、県としても効果的な策が必要だと思います。すでに多くの人がこの施設(温水プール、ジム、お風呂のある施設)に魅力を感じて自ら会費を支払い健康維持のために利用しています。もしこれが官民連携の施設となり、もっと手ごろな値段で利用できればより多くの人の利用 が見込めることは確実です。それによって医療費や介護保険の利用も抑えられる可能性も高いはずですが。 難題ですが、県西部のことにも心を寄せて頂けたらと思います。後藤田知事の言うように前例踏襲を打ち破る形で今までにない新しい切り口でなんとか県西部の人々の健康増進のために知恵を絞って頂けたらと思います。周辺の企業などにも協力を得るよう働きかけて頂くことなども一つの策かもしれません。利用者の健康維持への貢献度や実態を調査して頂ければその価値がわかんと思います。お願い致します。